

みんなの学校プロジェクト

アフリカ理解プロジェクト 星野貴子
2008・10・14

牧畜民ってどんな人たち？

⇔私たち（日本人）ってどんな人たち？

オロミア州ファンターレ郡

オロミア州は面積、人口共に、エチオピア全体の三分の一を占める大きな州。
多くの資源があるが、基本的な（ ）サービスは十分ではない。
オロミア州東シヨワ県ファンターレ郡は、首都のアジスアベバから東へ約 200 キロ離れた、隣国ジブチへの（ ）道路が通る地域。
高温で乾燥しているうえに、近年では（ ）に雨が降らないことも多く、年間を通じて雨量は不足。乾季のときの日中の最高気温は 37 から 40 度に。
ファンターレ山（2,007 メートル）を除き、標高 1,000 メートル前後の平坦な地形。

カラユの人々：取り巻く環境

オロモ族のひとつ、南部のボラナ・グループと並び伝統的な暮らしを守る（ ）。
郡内の条件の良い土地は、砂糖生産工場や国立自然公園に（ ）されている。
→カラユの人々はエチオピアの中でも最も条件の悪い乾燥した地域に追いやられている

カラユの人々：日々の暮らし

女性の役割

男性の役割

カラユの人々：みんなとの暮らし

（ ）
土地はすべてカラユ社会の（ ）で、個人的な土地の売買は出来ない。
（ ）システム
コミュニティ内の問題を（ ）で解決する伝統的な仕組み

みんなの学校：概要

オロミア州ファンターレ郡は（ ）にあり、郡内には 14 の小学校と 2 つの中学校がある。

グディナ・トゥムサ基金(GTF)

1990 年に設立。1992 年から活動を行っている政府登録（ ）。
本部は、首都（ ）にある。
GTF の活動の目的は、困難に直面している人々の精神的、物質的ニーズに包括的に取り組むこと

みんなの学校プロジェクト

アフリカ理解プロジェクト 星野貴子
2008・10・14

牧畜民 (Pastoralists)

脆弱 (ぜいじゃく) で多様性に欠ける生活スタイル。

頻発 (ひんぱつ) する旱魃 (かんぱつ)

旱魃に対する認知 (にんち) と教育の欠如 (けつじょ)

深刻な水不足

家畜の病気の蔓延 (まんえん)

土地の侵食と単調な生産システム

地域開発からの排除 (はいじょ)

就学年齢の子どもたち (School aged children)

フォーマル教育とノンフォーマル教育

フォーマル教育

デヒビティ村のダンディ・グディナ小学校 1995年から

図書館、女子寮

メタハラ町のダンディ・グディナ中学校 2003年から

寄宿舎、環境教育センター

ノンフォーマル教育 2003年から

ノンフォーマル小学校

政府が学校を建設できない地域で、住民組織が中心になって運営する (3年間)。

一定の課程を終えると正規小学校の5年生に編入できる仕組み。通学距離や収入の問題から、正規の小学校に入学できない子どもたちにとって、授業の時間や内容に融通性のあるノンフォーマル小学校は貴重な制度。

大人のための識字教育・技術訓練

水資源開発 (Water Development)

自然資源管理 (Natural Resource Management)

収入源の確保 (Income Generation Schemes)

効果的な家畜の飼育

女性の地位向上 (Women's promotion)

労役 (労役) の削減、小規模ビジネス、製粉と穀物倉庫など

家畜資源の開発 (Livestock Development)

家畜病院の設立、家畜へのワクチン投与、家畜の病気に関するトレーニング

人道的な対応 (Humanitarian Response)

緊急穀物支援 2002、緊急飼料支援 2002-3、2006、2008

緊急家畜支援 2003、2006

危機および脆弱性の削減 (Risk and Vulnerability reduction)

食料生産と備蓄、確保など

みんなの学校:生徒の1日

ダンディ・グディナ中学校に通う女子生徒

<http://africa-rikai.net/projects/studentsupport.html>